



## お正月の文化

12月21日(金) 終業式の日に、南Ba小会の吉山会長、矢野さん、實取さんに門松を作っていただきました。(写真下)

作成の打ち合わせの時に、門松に使う材料やその材料を使う意味についても教えていただきました。

門松には、いろんな願いが込められています。まず「竹」、これは、竹の成長が早いことから、子どもたちの成長を願って使います。さらに、竹を節の途中で斜めに切るのは、切り口が笑顔に見え、福を呼び寄せるという意味があるそうです。次に「松」と「梅」ですが、これは冬の寒いときでも緑で生き生きとしていたり、花を咲かせることから、縁起がいいとして使われます。さらに「ナンテン」は、「難を転じる」という意味から使われるそうです。最後に「葉牡丹」ですが、これは、もともと別の植物の「牡丹」が使われていたそうです。「牡丹」は中国で家庭の幸福と繁栄を祈る花とされていました。これをそっくりな葉牡丹で代用したものだそうです。

門松は1年の幸せを願う日本の文化の1つです。南小にも幸せがやってきました。南Ba小会のみなさんありがとうございました。



南Ba小会の吉山さん、矢野さん、實取さん



ナンテンの実

# 新学期スタート 「一步前進」を合い言葉に!

明けましておめでとうございます。

平成最後の冬休みが終わり、学校に子どもたちの元気な声が帰ってきました。バスから降りる時、子どもたちが、運転手さんに「ありがとうございました。」と元気にあいさつして降りてくる姿は、とても気持ちのよいものでした。

教室でも、久しぶりに会うお友だちと話が弾んでいたようです。

始業式では、お正月のこと、1月3日に起こった地震のこと、新しい学年にあがること、苦労をしながら成長することの大切さについて話をしました。「苦労をするときには、友だちと一緒に苦労して欲しい。苦労も2人すれば半分になる。」「大きな苦労も、よろこんで受けとめ、乗り越えていくことが大切です。」と念を押して話を終えました。

3学期は、これをふまえて「一步前進」でがんばっていきます。保護者の皆様、地域の皆様よろしくお願ひいたします。



## まつぼり風の夢

# 荒木選手がやってきた!!

1月10日(木)に中日ドラゴンズの荒木雅博選手が来校されました。一昨年通算2000本安打を達成したとき、子どもたちから送られたメッセージのお礼をしたいということで来校されました。

1年生が作った歓迎ボードで華やかになった音楽室で荒木選手をお迎えしました。荒木選手を見た瞬間、子どもたちの目がキラキラと輝き笑顔でいっぱいになりました。

どんなにすごい選手か説明を受けると、さらに、目が輝いていました。荒木選手からは、「夢を達成するためには、毎日毎日がんばって、同じことを繰り返していくことが大切です。家でも勉強を繰り返す



1年生が作った歓迎ボード



5年生2人から花束贈呈

ことです。」とお話があり、子どもたちは「がんばろう!」という気持ちを高めていました。

代表で6年生の上村玲央さんがあいさつし、5年生の小牧愛佳さんと上野獅恩さんが花束を贈りました。

荒木選手からは、現役時代に使っていたのと同じバットと2000本安打を達成した日に使われた公式ボールに、サインを入れてプレゼントしていただきました。(校長室に展示しています!!!)



6年 上村玲央

これから荒木選手のご活躍を、南小みんなで応援しています。

現役時代に、低・中・高学年で記念撮影をしてもらいました。いろんな苦労を乗り越えて偉業を達成した荒木選手の言葉には、ひと言ひと言に重みがありました。この言葉を南小のみんなでしっかり受けとめ、夢に向かってがんばっていきたいと思います。

お礼のことば  
今日は私たちのために、菊陽南小にきていただき本当にありがとうございました。  
現役時代に二千本安打や、ゴールデングラブ賞受賞など、数々の偉業を残された荒木選手。そんな先輩が菊陽町出身ということは、僕たちの誇りです。(中略)  
今日、荒木選手から話を聞いたとおり、毎日毎日努力することが大切だと強く感じました。僕も荒木選手のように努力を惜します、夢を叶えます。

お礼のことば  
今日は私たちのために、菊陽南小にきていただき本当にありがとうございました。

